

令和4年度 第1回笠松町総合計画審議会 議事概要

日時	令和5年2月24日（金） 15：30～
出席の委員	大成会長 岩井副会長 山田委員 田村委員 安藤委員 岡田委員 名和委員 川合委員 森委員 久納委員 樋口委員 川島委員 （以上12名）
欠席の委員	片山委員 村上委員 岩田委員 古澤委員 カラギョル委員 高島委員（以上6名）
議事概要	
全般	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり指標（事務局案） 承認 15名（うち3名書面にて承認） 令和4年度実施計画（事務局案） 承認 15名（うち3名書面にて承認） 非承認 なし 非承認 なし
指標番号	いただいたご意見と町の対応
基本方向1	ぬくもりと笑顔あふれる思いやりのまち
指標1	参加者の意識は高いがやや高齢である。
指標2	経験者だけではなく新規の修了者を増やす施策が必要。
指標3	<ul style="list-style-type: none"> 来年度実施とのことで、通学路でもあり、早急に対応をお願いしたい。 ⇒予算計上しており、いただいたご要望を担当課へ伝えます。 名鉄笠松駅東口の旗を持った見守りは継続していただきたい。 ⇒継続に向け、来年度も予算計上しています。
指標19	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポート会員数は、依頼会員数か、提供会員数か。また、提供会員の人数が少ないのでもっと募集していただきたい。 ⇒両方の会員数です（依頼会員66名、提供会員41名。計111名）。提供会員の募集を行います。
指標20	<ul style="list-style-type: none"> 「小中生の居場所づくり」としての活用状況を紹介し、広報活動を盛んにする必要がある。また、「子ども人権条例」の視点で検証してはどうか。 運営面において、以下の通り一層魅力のある施設としてほしい。 屋外遊具の増設、酷暑の日が多いため室内遊具の増設、乳幼児親子が毎日来たくなるような運営内容及び職員研修の充実等
全体	<ul style="list-style-type: none"> 「こどもの権利条例」に関することについて、実施計画にも記載をお願いしたい。 14 就労体制の充実 一般就労へ移行しても、短期間で解雇となる事例もある。継続して調査をお願いしたい。 56 子どもや保護者の交流の場づくり 小中校生の居場所づくりについてボランティアが実施している。町としても事業に取り組んでいただきたい。 64から67 LGBT への施策及び男女共同参画について もう少し踏み込んだ啓発を実施し、各種申請書の性別欄を削除、公共施設等の多目的トイレの設置状況を調査するなど、具体的に事業を実施していただきたい。 ⇒各種申請書の精査や、多目的トイレの設置、中学校に標準服を導入するなど、実際に実施している部分もあるので、それらを具体的に記載することを検討します。
基本方向2	未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち
指標23	県産農産物の使用だけではなく、オーガニック給食の実現に向かっていただきたい。
指標24	<ul style="list-style-type: none"> 英語が必要とされていることを授業で周知し、ソフト面の施策が必要である。また、プリント学習ではなく、現代的な項目に変更してはどうか 指標を英検3級だけではなく、英検すべての級としてはどうか。 ⇒現在、4級以上を助成金の対象としている。指標の変更を検討します。
指標25	学校と異なる学びができる貴重な機会なので、募集方法を改善していただきたい。（高島委員）
指標26	<ul style="list-style-type: none"> 海外派遣の休止に伴い指標を変更したとのことだが、10年間の計画であることから、慎重に検討していただきたい。 ⇒現状は休止とさせていただいていたが、社会状況などによっては元に戻すことも検討する。指標を変更する際は、審議会の皆様に相談させていただく。
指標27	北海道への派遣など夢のある活動は広報を早く実施し、住民の参加意欲を高めていただきたい。

指標28 指標29	・社会教育主事により、その活動が資料等で紹介されており、生涯学習講座や公民館利用は活性化していると感じる
指標30	・図書館の利用をデジタル化し、岐阜市図書館と連携してはどうか
指標34	・子供たちのために、笠松力検定の内容に合致した「歴史探訪」を実施してはどうか
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・73 児童生徒の安全の確保 見守り隊として活動しているが、引き続き、旗やベスト・帽子などの補助をお願いする。 ⇒継続して補助を実施します。「笠松町協働型町民活動促進事業補助金」も活用していただきたい。 ・児童生徒の安全面から「見守り隊」に関する指標を検討してはどうか。 ・91 青少年団体の活動支援 会報誌「そだち」は年何回発行しているのか。また、来年度は休止と聞いているがどうか。 ⇒会報誌は通常は年2回だが、コロナの影響で活動が縮小しており、今年度は1回発行。来年度は笠松町子ども会育成協議会が活動休止とのことで、実施計画の記載を修正します。
基本方向3 にぎわいと活力あふれる創造のまち	
指標38	・商工会新規会員数は、復調傾向にある。
指標40	<ul style="list-style-type: none"> ・町公式LINEの活用で、町政等の情報が広く早く入手できている。 ・町公式LINEによる情報発信が多すぎるのではないか。 ⇒登録者数が多く効果的な周知ができていますが、発信する情報の選択に留意します。 ・防災無線も日中は誰も家にいない家庭が多く、効果はどうか。 ⇒現在、防災無線の機器を更新しており、災害時にはLINEによる情報発信もする仕組みとなります。
指標41	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの休止に伴い指標を変更したとのことだが、10年間の計画であることから、慎重に検討していただきたい。 ⇒みなと公園を広く活用することを目的に指標を変更させていただいた。指標を変更する際は、審議会の皆様に相談させていただきます。
指標43	・人口規模に対して転入者数が多く、子育てしやすいまちづくり、防災に対応したまちづくりが実施できていると感じる。
基本方向4 便利で快適に暮らせるやすらぎのまち	
指標45	・指標ではないが、「歩行者」だけではなく、「自転車利用者」の視点からも、通学路等の段差解消に努めていただきたい。
指標49	・リサイクルステーションができたことで、ごみをためることがなくなりありがたい。生ごみの減量も意識するようになった。
基本方向5 安全で安心して暮らせる住みよいまち	
意見なし	
基本方向6 「官」「民」協働で築き上げる持続可能なまち	
指標58	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数が15万人に対して、指標39の観光・イベント情報閲覧者数が5千人と非常に少ない。どのページの閲覧者数が多いのか検証するとまちづくりの参考になるのではないか。 ⇒新型コロナや予防接種の閲覧者数も多く、観光・イベント系は近年、SNSでの周知が軸となっている。
指標60	指標ではないが、職員研修により、丁寧な仕事ぶりだと感じる。会議時間の短縮により、官民交流する時間が減少しているように感じる。
その他のご意見	
・羽島郡PTA連合会としては、中学生ボランティアの活動を推進しているので、機会があれば声かけをしていただきたい。	

笠松町の対応

まちづくり指標の修正・変更について、上記の通り委員から具体的なご提案をいただいていることから、慎重な検討を行いながら、社会情勢等に合わせて柔軟な対応を行います。

第6次総合計画3年目である令和5年度の事業は、まちづくり指標の更なる達成率の向上を目指して施策を実施してまいります。

